



日高九条の会が4月「こころ座」公演

いぬい・とみこ作

「川とノリオ」に取りくみ

- 平和の大切さ 核兵器の怖さ

9条の意味 知ってもらおうと -



日高九条の会はこのほど、呼びかけ人のお一人でもある風間操さんが主宰する「こころ座」の「川とノリオ」公演にとりくむことを決めました。

「こころ座」って？

各地で公演したチラシには「こころ座は埼玉県日高市を拠点に、小さな読み語りの舞台で、全国を巡っています。忙しすぎる日常を離れ、ほっとひと息、心なごむ温かな時間と空間を届けたい！と願い、活動しています。ぜひ一度、「こころ座ワールド」にお出かけ下さい！！と書かれています。キーボードと琴にのせて繰り広げられる、読み語りの世界には子どもだけでなく大人も引き込まれていきます。

「川とノリオ」って？ 児童文学者で有名ないぬいとみこ原作で小、中学校の教科書にも取り入れられた童話です。小さな男の子の主人公と、その家の前を流れる小川を舞台に、戦争のむなしさ、原爆の恐ろしさを、決して声高でなく、だからむしろところに響く訴えかけをしています。音読のテキストとしても用いられ、先生の間ではその授業法についてたくさんの研究がなされています。

公演予定 4月22日(土)午前・午後の2回公演 会場 日高市内(未定)

平和を願って

時代は移り進むと共に人々の意識も変化してゆくものです。戦後六十年を迎え、憲法を変えようとする動きが保守政党からマスコミを通じて流され続けています。

人類の歴史は、戦争によって発展してきた裏面もあります。それは、人類が、まだ地球規模で世界を認識し合えない時代のことでした。

一度にわたる世界大戦で甚大かつ悲惨な経験を経て戦争の恐ろしさ悪かさを知りました。そして日本は人類史上に誇れる「戦争放棄を盛り込んだ平和憲法」を制定し、戦後六十年間戦争をしないことで廃墟の中より今日の繁栄を遂げてきました。これは憲法九条が戦争放棄を定めていること起因しています。

この憲法を改定して、自衛隊が米軍と共に米國覇権主義の世界制覇に協力できるようにしようと、政権政党は策動しています。このような情勢下にあつて、今年には平和憲法を守るか否か攻防の年です。

皆様と共に改憲を阻止して、次世代に「平和憲法」を引き継ぎ、人類が戦争をしないで叡智を発揮し、平和共存してゆく二十一世紀を築くための運動を盛り上げてゆきましょう。
牧田 哲也(事務局)